

## 第17回 番組審議会 議事録

開催日時：2018年3月15日（木）16:00～17:10

会場：京都府舞鶴市字円満寺158-6 西市民プラザ2階 市民活動団体活動室

委員総数：6人 出席：4人 欠席：2人

出席委員：水嶋純作、山内茂樹、松井恭子、楠崇智

欠席委員：松本 泰、今安博和

局側出席者：ジェネラルマネージャー 時岡浩二

放送局長 中西 進

制作チーフ 上田秀篤（順不同敬称略）

### 議 事

#### 1. 局からの報告事項

- ① 朝の帯番組で木曜日が欠となっていたが、3/1（木）から1月に養成研修を修了した女性パーソナリティが担当を開始した。また、水曜日が欠となっていたが、3/7（水）から、出産・育児休暇から明けた第1期生の女性パーソナリティが復帰した。また、4月から他の帯番組時間帯を含め、担当パーソナリティの入れ替え等がある予定。
- ② 「災害・防災情報提供サポーター」制度を設けることとし、平時・災害時に関連情報を提供していただける方を登録し、顔の見える方から信頼性の高い情報を受け取るようにした。その養成講座の基礎編2/24（土）に行い19名の出席を得た。実践編を3/8（木）に行い、また3/22（木）にも行う。講座修了者はサポーターとして登録する。
- ③ 3.11 震災特番として、「京都府内7局連携災害特別番組～地域ラジオネットワーク～」を12:00～12:59（再放送22:00～22:59）に放送した。またJCBA（日本コミュニティ放送協会）を通じて配信される「東日本大震災特別番組～ラジオから伝えたい想い～」を08:00～08:59（再放送3/12 09:00～09:59）に放送した。
- ④ 前回審議会でご指摘のあったJ-WAVEへの/からの番組切り替え時にその旨のアナウンスを入れ始めた。
- ⑤ JCBA 近畿地区協議会が行う第20回近畿コミュニティ放送賞（番組コンテスト）に以下の4つの番組を応募提出した（2/16締め切り）近畿の他27局からも応募があり、各局は4/4までに他局の応募番組を審査することになっている。4/27に審査結果が発表される予定。
  1. 情報・教養番組部門 2017.8.14 放送 Premium Kyoto  
ゲスト：浮島丸殉難者を追悼する会代表との対談
  2. 娯楽番組部門 2017.12.2 放送 音楽とりわけ皿  
ゲスト：京丹後市在住アマチュアミュージシャン
  3. 特別番組部門 2017.9.29 放送 お茶の京都 舞鶴編  
「知られざる名品・舞鶴茶」の歴史・おいしさの

## 2. 議題

### ① 番組審議

2018年3月1(木)放送 Premium Kyoto

パーソナリティ：ムッシュ古田(古田豊弘)

ゲスト： 楽天トラベル 平松 勝氏

#### 【主な意見】

- 話し方に安定感があり、好ましい。今の雰囲気のまま続けてもらってよい。カバー曲ばかりを集めているのも面白い。
- 入り口で、少し早口のところがある。細かい説明のところはゆっくりしゃべる工夫をするとよい。
- 番組構成等、やり方は素晴らしい。情報量もあり聴きやすい。

### ② 他の番組等に関する意見等

- あるパーソナリティが他のパーソナリティ名を言うときに身内なのに「さん」付けしているのが気になる。また、「～さんが担当されます」のように二重に敬称/尊敬語と続く場合がある。  
→局回答：各番組紹介をするミニ番組内では、担当パーソナリティ名は呼び捨てにすることに統一している。ただ、自分の番組内で他のパーソナリティに言及するときは、「さん」付けを許容している。二重に敬称/尊敬語と続く件についてはパーソナリティ会議で注意する。
- J-WAVE への/からの番組切り替え時のアナウンスを入れ始めたのは、メリハリがつくという意図通りとなっており、良い。
- 出産・育児休暇から明けた女性パーソナリティが水曜日朝の番組に復帰したのはよかった。また、木曜日朝の番組担当パーソナリティは、しつとりと落ち着いた語り口であり、高齢者にも受け入れられるだろう。
- ホームページへのポッドキャスト掲載が有料化したことをホームページで周知するとよい。
- 番組表のパーソナリティの顔写真をもう少し大きくしたほうがよい。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は2018年4月3日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は2018年4月3日からホームページで公開した。